



SESERAGI-MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2010～2011年度 RI会長 レイ・クリンギンスミス

RIテーマ BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS 地域を育み、大陸をつなぐ

クラブテーマ 「親睦をもっと深め、心の奉仕を行動で示そう」 会長 西原克甫

副会長 渡邊照芳 幹事 内田憲一

第1049回 例会
2011.6.17 (金) 晴

司会:土屋 巧君 指揮:山本 章君

ロータリーソング 「日も風も星も」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F

TEL. 055-976-6351 FAX. 055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島

TEL. 055-984-0120

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

せせらぎ三島ロータリークラブ

会長 西原克甫君

今晩は、本日は、クラブフォーラムです。各委員長様には一年間の事業報告をお願いしてありますので宜しくお願い致します。

会長報告は、たくさんありましてお読みすると20分かかってしまいますので抜粋して本日は、報告させていただきます。全文は、報告書に載せさせていただきます。先ず始めに今年度の事業を無事に終われますことは、会員の皆様ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

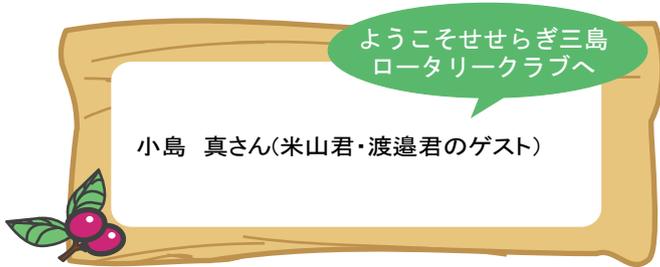
年度初めに内田幹事様と今年度は、周年事業もないし、四クラブ、七クラブのホスト事業も何もないので気楽にやらせて戴こうと二人で話し合いました。

先ず、一番大きな出来事は、平成23年2月に当クラブの野中パスト会長様が癌でお亡くなりになったことです。本当に残念であります。ここに哀悼の意を表し、当せせらぎ三島RCの発展にご尽力されました事に敬意を表します。又、皆様の中には、思い出と共に永遠に忘れ去ることはないでしょう。ご冥福をお祈り申し上げます。

私の今年度のテーマでありました「親睦をもっと深め、心の奉仕を行動で示そう」を実行するため石井邦夫親睦委員長をはじめ委員の皆様にはご苦勞をお掛け致しました。お陰様で、2010年8月の夏の家族会は箱根路へ散策をしたり温泉に入ったり箱根神社に1年間の無事を祈願し、楽しい一日でした。10月には、長泉の桃園キャンプ場で芋煮会やバーベキュー大会を催して戴き会員及びご家族で楽しみ、親睦を深めさせて戴きました。12月は、恒例のクリスマス会、5月は、地引網で家族会を開いて戴き、おおいに親睦を深めることができました。ありがとうございました。テーマの目的を十分に達成できたと思います。

ハンドベル・ミセスアモーレ代表の山田様の奥様及び会員の皆様一年間お疲れさまでした。当クラブクリスマス会を始めとして、緑が丘老人ホーム、長泉老人ホーム等一年間お忙しい中、当クラブの専属として社会奉仕のボランティアをして下さいました。お陰様で「せせらぎ三島RC」の事業として皆様からよろこばれました。

当クラブのビック事業の青少年育成事業の一つの中学生の職場体験事業をクラブ会員全員で長年実行してきたことを三島教育委員会が県教育委員会に推薦して下さい、又、静岡県教育委員会が文部科学省に推薦をして下さいまして文部科学省に於いて当クラブの青少年育成事業が「平成22年度キャリア教育優良団体」として文部科学大臣表彰に輝き、平成23年1月14日に大房パスト会長様、内田幹事様と私が皆様を代表して、東京霞が関の文部科学省に表彰状を戴きに行っていました。当クラブを大変誇りに思いました。これからも皆さん頑張りましょう。皆様のご努力に感謝申し上げます。ありがとうございました。小林ロータリー奉仕委員長、米山職業奉仕委員長様には、2011年3月11日に起きました未曾有の東日本大震災に際し、いち早く支援物資を会員の皆様に呼び掛け多くの救済支援物資を用意され交通うがままならない中、被害の一番ひどかった宮城県南三陸町まで、お届け頂きました事厚く御礼申し上げます。当日、米山様、中山様、山田様、内田幹事様には片道8時間をかけて雪が舞い散る中、現地までお届け戴きました事、本当にお疲れさまでした。せせらぎ三島ロータリー・クラブの大事業の一つになりました事、厚く御礼申し上げます。又、事業内容が、地区ホームページに又ガバナー月信に掲載され当クラブの存在感をおおいに知らしめました事、厚く、厚く御礼申し上げます。最後になりましたが一年間至らない会長の補佐を嫌がらずに完ぺきに補佐して下さいました内田憲一幹事様には大変、大変、お世話になりました事。言葉には言い尽くせぬ御礼をこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。ご苦勞をお掛け致しまして申し訳ありません。本当にありがとうございました。忘れてはいけない報告がありました。各委員長様の事業実施のおかげをもちまして、RI会長レイ・クリンギンスミス2010-2011年度国際ロータリー会長提唱の四大奉仕部門のすべての部門におけるクラブの事業活動で「当クラブは35点以上を獲得しましたので」RIから「特別会長賞」を戴きました。これも会員の皆様のご努力と実行力のたまものと厚く、厚く御礼申し上げます。最後最後に皆様にもう一度一年間のご協力に感謝申し上げます。2010-11度の会長報告とさせていただきます。ありがとうございました。 合掌。



会員増強委員会

委員長 山本良一君

新年度スタートの平成10年8月6日に会員増強のクラブフォーラムを開催、各テーブルごとに会員候補者をリストアップして3ヶ月以内にゲストとして招待を試みました、また11月には再度会員に増強の必要性を話しました。

期中4名の退会がありましたがいずれも事情がありやむなく退会。しかし、会員候補に挙がった2名が候補者として会員に案内がありました。推薦者の協力で入会をするとのことで、今期も最終になり、次年度に向け良き増強になりました。

青少年育成委員会

委員長 石井司人君

本年度も継続している「3年後の自分への手紙」事業を実施。一昨年は1校が参加が無かったのですが、本年度は全校が参加して頂きました。

ロータリー奉仕委員会

委員長 小林 勝君

ロータリー奉仕委員会の主な仕事に、ロータリー財団について会員の皆さまに理解してもらうことがあります。昨年11月にロータリー財団の研修が浜松で行われ、私も参加して参りました。ロータリーの寄付活動がどういう形で行われているか、又、集められたお金がどのように使われるかも理解できたような気がします。今後もロータリー財団についてご理解ご協力の程、よろしくお願ひします。

職業奉仕委員会

委員長 米山晴敏君

1. 今年度の目標でありました会員の四つのテストの掲示ですが、四つのテストの複製が無い会員にお配りし、従業員又はお客様の見ていただける場所に掲示をお願いしました。この目的の『ロータリアン及びおの周りの方々にこの精神を持ってもらう事』は実施出来たと思います。

2. 優良従業員の表彰

『会員の従業員の中で会員がロータリー活動がしやすい仕事、環境を作ってくれている人を会長が表彰する』は残念ながら申し込みはありませんでした。

3. 『会員相互の朝礼等の見学』も出来ませんでした。職業奉仕はロータリー活動で大切な事業です。今年度出来なかった事業も優秀な次年度望月委員長が実施して頂けると信じています。

1年間ご協力ありがとうございました。

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	27/30	90.00%	28/30	93.33%
今回	26/32	81.25%	会員総数	33名

欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

石井(和)君、内田君、遠藤君、望月君、山口(雅)君、米山君

クラブ協議会

会員組織委員会

委員長 中村 徹君

1、「ロータリーの綱領」の和訳について年度当初、会員の皆様のご意見を伺いました。その際には東大阪みどりRC(創立12年)の膨大な資料には大変驚かされました。

ロータリーの友2011年2月号(26~27ページ)に鳥居滋パストガバナーが全国のクラブにアンケート調査報告がなされています。突き詰めれば、「ロータリーの奉仕とは？」という所に話が及びます。

2、2007年手続要覧から始まったCLPはクラブ運営の簡素化を歌い、会員増強、広報、奉仕プロジェクトに特化してきたように思います。しかしながら、会員組織委員会、広報委員会の実態は、従来のクラブ奉仕委員会の中の会員増強委員会や雑誌、会報委員会であり、ましてや奉仕プロジェクト委員会には職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会が含まれるといった良く判らない委員会制度でありました。2010年度規定審議会に基づく手続要覧が発刊されたよい機会でもあり、クラブの委員会構成表を原点に戻し、次々年度より実施する事を矢岸貞夫組織規定委員長に進言し、定款、細則、内部規定を改正していただきました。矢岸さん、事務局宇都宮さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。

3、会員増強・維持については、委員会として大変努力はしましたが、大変厳しい年度でありました。しかしながら、会員の皆様の協力を得て、候補者が2名推薦され、次年度には入会される運びとなりました。会員増強委員長山本良一、副委員長鈴木政則君、大房正治パスト会長、委員加藤正幸君の皆様には一年間大変ご協力をいただきました。ありがとうございました。

広報委員会

委員長 宮澤正昭君

計画書に掲げた積極的な活動とまでは行きませんが、ロータリー内広報、ロータリー外広報への皆様のご協力に感謝申し上げます。又、3月11日の東日本大震災では会員の皆様の素早い動きの中、義援金及び支援物資を集めて頂き、物資については南三陸町に直接(米山君、中山君、山田君、内田君)搬送して下さり、被災地の悲惨さを目の当たりにして来た事と思います。大変ご苦労様でした。

ロータリー内広報委員会

委員長 山口辰哉君

週報は毎週滞ることなく皆様にお届けすることが出来ました。例会で何か発表したら必ず原稿が必要であるということが徹底してきたことの証左であると思います。ホームページに関しては会員名の会社をクリックすると、ホームページをお持ちの会員の場合、そのホームページにリンクするようにしました。

ロータリー外広報委員会

委員長 片野誠一君

当委員会は、クラブの奉仕活動を地域社会並びに対外的に広報し、クラブの活動を広く知っていただくため、報道機関等を通じて広報活動を進める事を目的としてまいりました。本年度は特に地域社会に関しての奉仕活動は実施されませんでしたので、ロータリー外広報は特にありませんでした。しかし会長方針であります、会員の親睦と奉仕の精神の高揚については、クラブの運営においてその目的を大いに果たされたものと思います。

クラブ管理運営委員会 委員長 渡邊照芳君

1年を振り返りまず管理委員会の5小委員会の皆様に対して感謝を申し上げます。今年度は3月11日の大震災、その他色々アクシデントがありプログラムの変更、親睦委員会の行事の変更、クラブの定款、細則、内規の一部変更と大変な思いをしたと思います。しかし各委員会の皆様のご努力で1年を無事終わる事ができました。会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

プログラム委員会 委員長 鈴木政則君

数名の方に卓話の御願いをしました。全体としましてプログラムの流れは順調に進み、皆様のお陰で無事終了する事ができました。本当に有り難うございました。

会場監督委員会

委員長 土屋 巧君

今年度は特に目新しいことも無く、ホストクラブとしての大きな行事も無かったため、平穏な一年を過ごさせて頂きました。そんな中でも時流を踏まえ「喫煙タイム」の設定は行ないましたが、時間設定がうまく行かず今後改善の余地を感じました。

次年度は、私語の対応を工夫することや、今まで方法に拘らない新しい試みを導入する考えです。委員長を6月いっぱい終了は致しますが、引き続き協力をして、会のスムーズな運営を図りたいと思います。一年間ありがとうございました。

親睦委員会

委員長 石井邦夫君

2010年

8月22日(日) 夏の家族会

10月17日(日) 芋煮の家族会

12月17日(金) クリスマス家族会

2011年

5月15日(日) 春の家族会(地引網)

6月24日(金) さよなら例会

会長の方針「親睦をもっと深める」を年間を通して多少なりとも会員皆様の協力のもと親睦を深める事が出来たと思います。

出席委員会

委員長 加藤正幸君

クラブ管理委員会の下で1年間出席率向上と退会者が出来ないように努めてきましたが、残念ながら3名の退会者が出てしまいました。出席率は皆様のご協力をいただき、平均88.8%でした。

これからも仕事第一を進めながらも出席率を上げてもらう様、お願い致します。

会計・組織検討委員会 委員長 矢岸貞夫君

会計委員会

当初計画した予算案に対し、後期会員の減少のため限られた予算のなか皆様の理解と協力のもと無事、収入内での決算が出来る見込みです。(6/17現在)有難うございました。

組織規程検討委員会

2010年度規定審議会に基づき手続要覧推奨ローター細則が発表され当クラブは、中村クラブ研修リーダーの協力を得、定款及び細則内規の一部見直しをして修正しました。

皆様のご協力ありがとうございました。

おめでとう

会員誕生日	6月21日	大房正治君
	6月21日	山田定男君
入会記念日	6月22日	太田政人君
	6月22日	澤田 稔君
	6月22日	中村 徹君



スマイルボックス

山本 章君:西原会長、内田幹事、1年間ご苦労様でした。次年度渡邊会長、山田幹事宜しく願いいたします。

岡 良森君:今年度最後のテーブル会バッチンでやってきました。2次会も盛り上がりました。会費残金スマイルします。

加藤正幸君:2年間の区長職も終わりに安心しております。来週さよなら例会出張のため欠席させていただきます。ごめんなさい。

山本良一君:1週早いですが西原会長、内田幹事、大変ありがとうございました。あと1週で終わりですね。増強も思うように行かず反省しております。次週はスマイルが多いので早めのスマイルです。

西原克甫君:本日は、各委員長様には1年間の事業報告をお願いしてあります。宜しく願いいたします。1年間ご協力いただきましてありがとうございました。

鈴木政則君:6月16日Eテーブル会を行いました。次年度会長の渡邊さんと次年度幹事山田さんが参加してくれました。楽しいひとときを過ごす事ができました。

石井邦夫君:選挙ではないですが来週が最後のスマイルになります。皆様宜しく願いします。来週のさよなら例会は三島駅南口楽寿園前17:40分発です。

澤田 稔君:今年度西原会長、内田幹事、各理事、役員の皆様大変ご苦労様でした。内容が充実して立派でした。

渡邊照芳君:これで本日のスマイルが2万円を越えました。

中村 徹君:被災地の中学生に旅行用スーツケースを送る事が出来ましたのでスマイルします。台湾へ中学生が10日間ホームステイに招待されましたが、現地では買い揃える店もありません。盛岡北ロータリークラブ会長から全国のロータリーへスーツケース44個支援を要請するメールをいただきました。子どもたちが楽しい夏休みを送ってくれることを切に願います。

大房正治君:6月21日で64歳になりました。後11年経つと75歳で後期高齢者の仲間入りです。

ROTARY NEWS

今こそポリオ撲滅に全力投球を

世界ポリオ撲滅推進計画（GPEI）は、新たな戦略計画と二価経口ポリオワクチンが昨年導入されて以来、大きな進展を遂げてきました。近年、ポリオのない国へのウィルス感染の原因となってきたインドとナイジェリアでも、2010年には前年と比べ感染数が95%減っています。

5月の世界保健総会で、マーガレット・チャン事務局長はこのような進展を高く評価した一方、「撲滅活動が終わったわけではなく、私たちは撲滅が達成されるまで見届けなければならない」とも述べました。GPEIの独立モニタリング委員会（IMB）の4月の報告によると、インドとナイジェリアでの進展に加え、アフリカの15カ国でも、2009年に始まったポリオ流行が収束しました。GPEIの主導機関（世界保健機関、国際ロータリー、米国疾病対策センター、ユニセフ、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団）は、IMBが報告の中でポリオ撲滅を「確実に可能」かつ「絶対に必要」だとし、各国政府、寄付者、主導機関のさらなる支援があれば、進展が思わしくない国々においても、今後大きな進展が十分可能であるとの見解を示したことに注目しました。そのうちの1国、パキスタンでは、今年の終わりまでに感染を完全に絶つことを目標として掲げ、「全国一人残らず子どもに予防接種」するためにロータリアンが懸命な活動を行っています。

IMBはさらに、2012年までに推定6億6,500万ドルの資金が不足し、GPEIの成功の「唯一かつ最大の障害」となるだろうと報告しています。この資金不足を埋めるため、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団がロータリーのポリオ撲滅活動に3億5,500万ドルの補助金を提供したほか、ロータリーもこれにさらに2億ドルを上乗せして寄付することを目標に、「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」の募金を展開しています。この募金活動では、ロータリアンの懸命な努力によって現在までに1億7,320万ドルが集まっています。

IMBの報告は「ポリオの撲滅は近い将来に可能」と結論付けたものの、今後もあらゆるレベルで最大の注目を集めていかなければ、この目標の達成は難しいとしています。「今、この機会を逃したら、現在の低い感染レベルを保っていくことはできないでしょう。そうなれば、ウィルスがなくなった国にも再び感染が広がり、今は安全に暮らしている何十万という子どもたちも、命を落としたり、麻痺障害を負う危険にさらされることになってしまいます」と、ゲイツ氏は5月に開かれたRI国際大会で述べました。